

まほろば

2014年 8月号

自然農園だより



宮下 洋子
Hiroko Miyashita

お店の看板用に記念撮影！はいポーズ。(本番に使えない1枚ですが…)

ハウスの屋根のビニールが・・・

長い間待ち詫びた雨がやっと降ったかと思いきや、凄い雨で、強い風まで伴って、ちょっとしたミニ台風でした。第3ハウスの屋根が破れてしまい、大雨の中、皆で屋根に登って、ずぶ濡れになりながら、応急手当をしたそうです。本当によくやってくれました。頼もしい人たちです。

地上では大したことが無くても、山裾は風当たりが強いのです。少しでも風を和らげる為に、防風ネッ

トも張っているのですが、毎年、一回は破れてしまいます。

ピーマンやナスの支柱も倒れたり、折れたり・・・

これは天災というより、人災のウエイトが大きいです。

支柱立てとテーピングのやり方が甘かったので、補強しなければいけなかったのですが、次から次に作業に追われて、今日こそ、明日こそと思いながら、なかなかスケジュールに組み込む事が出来ませんでした。

ずっとお天気続きだったので、朝から晩まで水やりで時間を取られて、なかなか作業が進まなかったのです。

そして突然のミニ台風で、復興に2日もかかってしまいました。やる事が山ほどあるのに辛いところです。

ビックリ！ かい豆類と春菊、フダン草

乾燥が続いた時の、スナックエンドウのスジが多かった事、食べてびっくりで、スグに出荷を止めました。エンドウの木も大分老化して、そろそろ終わりかなという頃だったので、余計堅かったのだと思います。

春菊もソフテリアで出してくれたゴマ和えを食べてビックリ！！本当に申し訳ないことです。春菊・フダン草・ブライトライトチャードは、雨が



いったん上を向いて生るのが珍しい、プスタゴールドピーマン

降ったので、柔らかくなると思います。フダン草やブライトライトチャード(カラフルなフダン草の事)は、もともと、シャキシャキとした歯ざわりが身上市なのですが、それにしても、堅すぎました。

小松菜が堅いとクレームがあったばかりなのに、出荷の際の商品管理については、もっと厳しくしなければと気持ちを引き締めています。

レシートが無くても返金、または、お取替え

堅い野菜を買われた方は、申し出て下されば、レシートが無くても返金、またはお取替え致します。どうかご遠慮なくお申し出下さい。

但しスナックエンドウは、現在出荷していないので、お取替えは出来ませんので、お客様のご要望にそって、返金か、代替品(他の種類の野菜)かにさせて戴きたいと思います。本当に申し訳ございませんでした。



黄色や赤の鮮やかな茎が外人さんって感じですね。
ブライトライトチャード

出荷が遅れている果菜類

今年は、雨が少ないせいで、トマトやきゅうり、ナス、ピーマンなどの成長が緩慢で、まだ、出荷量が多くありません。やっと雨が降ったので、急に増えるのではないかと思います・・・

今日は西区内の親子が集まって、まほろば農園の野菜を収穫し、井出さん（スープカレーの店、『らっきょ』経営）と、カレーを作る、イベントの日ですが、例年ほど野菜が豊富にないので、収穫する野菜の種類を増やしました。

毎年、恒例のようになってしまったこのイベントですが、子供たちの食育に協力できるのはとても嬉しい事です。



収穫を待つズッキーニ



バスで到着



仲良く二人でひとつのズッキーニを!!



いつも雨に当たってしまうキッズ達。今年は天気にも恵まれました！草の中から人参を収穫。

学校給食の業者委託に反対した事も

30数年前のことになりますが、その頃はまだ、全国的に各学校ごとに給食室があり、管理栄養士さんも配置されていて、給食のおばさんたちが学校ごとに給食を作っていました。皆、市の職員でした。それが、急に合理化のために、民間業者委託になり、給食センターで何校か一括して料理する事になりました。

宝塚市が業者委託のモデル地区に

全国に先駆けて、宝塚市がモデル地区として指定され、実施されるというのです。当時、宝塚市に住んでいた私は、子供たちの給食の質が落ちる事を心配し、学校給食の業者委託反対運動をする事にしました。

「宝塚市学校給食を考える会」 を立ち上げる

親しい人たちに呼びかけて、「宝塚市学校給食を考える会」を立ち上げ、請願署名を集めました。請願は陳情と違い、議会で再審議をしなければいけないという法的拘束力のあるものでした。

毎日、街頭に立って呼びかけたり、議会回りをしたり、広く教職員組合や、市職労、市民運動（よつ葉牛乳の会・日本消費者連盟など）と共闘し、毎日のように新聞にも載るほど大きな反対運動になりました。（朝日新聞の全国版の一面に載った事もありました）

政党色も、宗教色もない純粋に子供たちの『食』について真剣に考えている人たちが、中心になっていたの
で、多くの賛同者が集まりました。



こちらはローザビアンカ



こちらはミトマトを収穫



8776名の請願署名を集める

宝塚市議会始まって以来の8776名の大量署名を集め、議会で審議される日は、共闘している人たちと、市庁舎に座り込みまでしました。

議会は、私たちの意に反し、革新政党が反対票を入れて、僅差で負けました。大きな組織ほどもういのです。

教職員組合（宝教組）は、当時、勤務評定で、戦っていたので、給食の問題を譲歩する事で、裏取引の条件にされました。



今度はピーマン



収穫が終わって、宮下代表のお話です。



どっさり食材ゲット。

市職労は、「これ以上反対すると、非正規職員（パート・アルバイトなど）の解雇をする」と、言い渡されて、反対できなくなりました。宝教組や市職労が悪いのではありません。今から考えてみれば、行政は、反対運動の落とし所をしっかりと押さえていたのだなと感心してしまいます。大きな組織は組織として動いているので、組織の方針に従って動くのです。

労働組合は、組合員の利益の為に作られた組織ですから、仕方がないと言えば仕方がないのです。

食育を大切に思う人はまだまだ少数

私が、毎年、キッズシェフのイベントを、積極的に受け入れ、大切にしてきているのは、以上



さあ、戻って今度はスープカレー作り！

のように、『食』に対して特別な思い入れがあるからで、まほろばが、食育に参加できる事が本当に嬉しいからなのです。

今でこそ、食育と言う事が、重要視されて来ましたが、当時は、教師でさえ、勤務評定より重要だと思えなかったのです。今でもどんなもののでしょうか。

結果、学校給食の業者委託は、堰を切ったように全国的に広がってしまいました。



ハウスのミニトマト

恵庭市の取り組み

恵庭市では、前中島市長（２００４年～２００８年）が学校給食を学校に取り戻そうと、「地産地消」を掲げて孤軍奮闘したのですが、議会にも住民にも理解が十分に得られず、市長選に敗退する一因にもなったようです。

一度、給食室を解体してしまった学校に、新たに給食室を作るには莫大なお金が掛り、税金の使い道として不満に思う人も多いからです。

北海道には、まだまだ業者委託されていない学校が多くあるようです。もともとある施設を大切に失くさないようにして戴きたいと思います。合理化のための目に見えない犠牲は大きいのです。



小別沢を一望する第４農場のカボチャ

給食室を守りましょう

「地産地消」の学校給食が出来るのも、学校に給食室があり、独自の取り組みが出来るからこそです。

作物を作った人や、給食のおばさんたちと、身近に交流し、感謝出来るのも、自分の生まれた地域を誇りに思えるのも、個性豊かな地域性に富んだ給食を食べて、個性豊かな人格を涵養出来るのも、目に見える関係で、安全性を追及できるのも、給食室があってこそです。

給食のおばさんたちが、子供たちの為に一生懸命作ってくれた愛情のこもった給食を食べて子供たちが育つ事が、とても大切な事に思えます。

集中力の無い子供たちや、学級崩壊も、学校から給食室が無くなった事と、まったく無縁ではないのではないのでしょうか？

人々が、余り深く意識しないうちに、いつの間にか全国の学校から、給食室が消えて言っているのです。

小別沢の取り組み

まほろば農園のある小別沢では、クリーン農業をやっている人が何人かいて、学校給食に小松菜など、青菜類を卸しています。こういう事がとても大切なのだと思います。まほろばも参加したいけれど、まほろばのお客様の野菜も足りないくらいで、規模的に難しいのです。

まほろばは、まず、家庭の食卓からです。



朝のミーティング風景

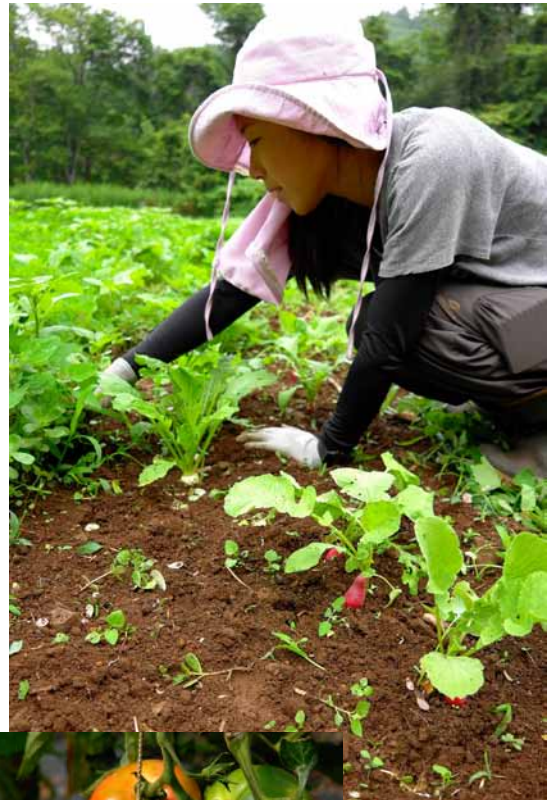
拓大（拓殖大学）から研修生

今年は珍しく拓殖大学から女性の研修生が来ました。お盆前まで研修の予定です。一番暑くて厳しい季節にいきなり、朝から晩まで研修なので、大変だとは思いますが・・・

久々の女性研修生なので、皆、親切な事。今朝は本人に代わって、「お休みはないんですか？何曜日なんですか？」と、頼まれもしないのに、朝の忙しい時に、わざわざ私のところに聞きに来る人がいたり・・・ミーティングの時でもいいのに・・・でも、まあ、皆で仲良くやって下さい。野菜も喜んでいますから。



きゅうりの収穫中



ハウストマト



ちりめん紫蘇

今、出荷中の野菜たち

- トマト（ハウス・露地）、ミニトマト（ハウス・露地）、調理用トマト（露地）、イエローミニ（露地）
- きゅうり（ハウス・露地）
- ナス（真仙中長・長ナス・サラダナス・ローザビアンカ）露地
- ピーマン（京ひかり・自生・さきがけ・サラダピーマン・グリーンピメント・プスタゴールドピーマン）露地
- ししとう・ジャンボししとう（露地）
- ナンバン・キムチナンバン（露地）
- ブッキーニ（グリーン・イエロー）露地
- 太平ささげ・三色インゲン・モロッコ（露地）
- ミニ人参（露地）
- 辛味大根・カブ・ラディッシュ（露地）



こちらはトンネルの中側から収穫（きゅうり）

- レタス・美味たす・サニーレタス（露地）
- キャベツ（露地）
- 青菜類（春菊・チンゲンサイ・水菜・フダン草・
ブライトライトチャード）露地
- 大葉（露地）・バジル（ハウス）
- 赤ちりめんじそ（露地）

失敗作、ミニ人参の使い道

ミニ人参は、2番目に植えた人参が、草とりと間引きが遅れて、今からやるのは大変なので、全採りして、ミニ人参で販売する事にしました。茹でて、丸ごとソテーにすると丁度いい大きさなのではないかと思います。ミニ人参が無くなってから、一番目に植えた大きい人参を販売する予定です。



草取りが遅れてしまった人参。まずはミニ人参として販売します。



ミニ人参の後に、秋野菜（白菜）を植えたいので、早く収穫してしまいたいのです。皆さん、しっかり食べて下さいね。

それでは皆さん、ごきげんよう、さようなら！！
（このセリフ、もう3回も使いました。ゴメンナサイ）



こちらも草と格闘中。かぶを救出しています！